

EPAビジネス実務検定

The Proficiency Test in EPA Business Skills

- (1) 年齢や国籍等は関係なく、どなたでも受験することができます。
- (2) 「EPA ビジネス実務検定」試験は3つの科目によって構成されています。3つの科目及びB級・C級のレベルは以下の通りです

- 〔Ⅰ〕 EPAに関する実務知識
- 〔Ⅱ〕 EPAに関する事例
- 〔Ⅲ〕 EPAに関する周辺知識

級	レ ベ ル
アドバンスト(B級)	基本・応用・実践的な知識 (業務の運営ができるレベル)
ベーシック(C級)	基本的事項 (定型業務ができるレベル)

(3) 試験形式／試験時間

※Web試験実施の場合は、配点・試験時間を変更することがございます。詳細は協会ホームページをご覧ください。

級	科 目	配 点	時間	レ ベ ル	
アドバンスト(B級)	EPAに関する実務知識	正誤(○×)式 選択式 語群選択式 四択択一式	150点	1時間 45分	どなたでも受験できます。 例えば、貿易実務検定C級以上の合格者の方。貿易実務における中堅層の方。EPA実務に従事している方等。
	EPAに関する周辺知識	正誤(○×)式 選択式 四択択一式 語群選択式	50点		
	EPAに関する事例	全て三択択一式	100点	1時間	
ベーシック(C級)	EPAに関する実務知識	正誤(○×)式 選択式	10題(30点) 15題(45点)	150点	どなたでも受験できます。 これからEPA実務に携わる方、EPA実務に携わって間もない方等。
	EPAに関する事例	語群選択式 三択択一式	10題(30点) 15題(45点)	1時間 30分	
	EPAに関する周辺知識	語群選択式 三択択一式	10題(20点) 10題(20点) 2題(10点)	50点	45分

(4) 受験料は下記の通りとなります。

受 験 料	
ベーシック(C級)	6,600円(税込)

※10名以上の団体受験の場合には、受験料が割引になります。

(5) 受験申込はWEBサイトでどうぞ。

EPAビジネス実務検定

〒163-0825

東京都新宿区西新宿 2-4-1

新宿 NS ビル 25 階

株式会社マウンハーフジャパン内

日本貿易実務検定協会®

(Tel) 03-6279-4730 (Fax) 03-6279-4190

(E-mail) epakentei@mhjcom.jp



URL <https://www.epakentei.jp/>

2020年よりEPAビジネス実務検定が開始されました

2021年 スケジュール

第3回 4月予定 ベーシック(C級)

(第4回以降、アドバンスト(B級)の詳細はホームページをご覧ください。)

EPAビジネス実務検定 実施にあたって

2020年2月より「EPAビジネス実務検定」が開始されました。

EPAといっても経済ニュースの中の話というレベルでは、知っていても、それを活用していくというところまでは、なかなか行われていません。たとえ貿易実務者であっても実際に社内で活用していくことが難しいのが現状です。これは、正しい基本的なEPAの知識が浸透していないことがその原因としてあげられます。

一方、先ほど述べましたように現在、アジアやEUとの間で実際にメガEPAが動きだし、また、近い将来EPA全盛期が到来します。そして、その時、有利な貿易取引、サプライチェーン、間接税対策をどのように行っていくのかといった戦略をたてるための知識が必要になります。

これは、貿易取引実務を行う方々にとっても、切り離せない重要な知識になります。

今回、われわれ日本貿易実務検定協会®は、これまでの22年間の経験を活かし、貿易実務検定®と並び「EPAビジネス実務検定」(略：EPA検定)を新たに実施することにいたしました。

これにより、EPAの実務的知識、EPAを実際に利用した戦略立案が効率的に学べ、かつスキルアップにお役立ていただけるものと確信しています。

また、試験合格後、さらにスキルアップされたい方には、一定の条件で研修をしていただく制度も行う予定です。

EPAに興味をお持ちの方、EPA関連業務、商社関連、運輸倉庫関連、金融関連、通関業関連、土業・コンサルタント関連などに携わっている方などなど、ぜひ、「EPAビジネス実務検定」にチャレンジしていただきたいと思います。また、これまでに貿易実務検定に合格された方、通関士試験に合格された方もさらなるスキルアップを図るためにチャレンジしていただきたいと思います。

日本貿易実務検定協会®
理事長 片山立志

EPAビジネスの未来

シンガポール協定を皮切りに、日本と二国間の経済連携協定(EPA)が結ばれてきましたが、CPTPP(TPP11協定：環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)、日EU協定が発効され、いわゆるメガEPA時代が幕明けしました。又、日米貿易協定、日米デジタル貿易協定も締結されました。そして、続いてRCEP(東アジア地域包括的経済連携)も近いうちに締結され、発効されていくでしょう。

日本の貿易総額に占めるEPA発効済国との貿易割合であるEPAカバー率は、メガEPAの出現により年々上昇しています。また、今後、EPAカバー率は80%までになり、これまで経験したことのないEPA全盛期が到来します。

このような貿易環境の中、貿易を含む国際取引においてEPAの実務的知識は、より有利な取引やサプライチェーンを構築するために必須のものになります。

日本のEPAの状況 (2020年10月現在)

EPA発効済



TPP 11 協定 (環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定：CPTPP)：カナダ、オーストラリア、シンガポール、チリ、日本、ニュージーランド、ブルネイ、ベトナム、ペルー、マレーシア、メキシコの計11か国が交渉に参加。

試験概要

出題範囲

出題の範囲は、以下の通りです。

範囲	内容
〔I〕 EPAに関する実務知識	(1) EPAと国際貿易体制
	① EPAと時事
	② GATTとWTO
	③ 世界の地域協定とメガEPA
	(2) EPA活用のための基本ルール
	① EPA活用のためのプロセス
	② 譲許表の理解
	③ 原産地規則
	④ 積送基準
	⑤ 原産性の証明(原産地手続)
〔II〕 EPAに関する事例	(3) EPA活用のための関連知識
	① EPA活用の意義
	② グローバルサプライチェーンの最適化
	③ グローバルロジスティック上の課題
	(1) 品目分類の基本
	(2) 譲許表分類
〔III〕 EPAに関する周辺知識	(3) 製品の判定
	(4) 原産品申告書の作成
	(5) 対比表等の作成に関する事例
	(6) グローバルサプライチェーン手法に関する事例
	(1) 通関実務
	① 輸出入通関
	② AEO制度
	(2) 関税実務
	① 関税評価
	② 関税率
	③ HSコードと品目分類の解釈
	(3) 物流に関する知識
	① 海上輸送
② 航空輸送	
③ グローバルロジスティクス	

これらの項目についてベーシック(C級)は基本的事項が出題され、アドバンスト(B級)は基本・応用・実践的な知識が出題されます。

試験形式

集合形式で行う。

設置予定会場 東京・横浜・名古屋・大阪・福岡・沖縄で実施予定
(ただし、実施月により設置会場は異なります。)

※現在は新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止の観点からWeb試験の方法により実施しております。

団体受験申込

- ・学校等の教育機関・各種法人・企業等の団体は、所属する学生・受講生・社員の方をとりまとめ、一括して受験申込をすることができます。
- ・団体受験申込をすると、学校や会社内に受験会場を設けることができます。(当協会が指定をする試験会場でも受験可。)
- ・団体受験申込の場合、検定料より一部、受付手数料、監督・施設手数料が控除されます。また、当協会からの受験票や可否結果通知書の発送が団体担当者様宛にお送りしますので、成績等を把握でき、一括管理することができます。なお、団体受験の条件としまして、教育機関、各種法人、企業等の団体であり、原則として10名以上とさせていただきます。なお、10名未満の場合でも一度当協会事務局までご相談ください。

テキスト／問題集

- EPAビジネス実務検定(EPA検定)受験の指針 ベーシック版(C級) 【MHJ出版】